



諏訪中央病院広報誌

たんぽぽ

ご自由にお持ちください

2026.5

第245号

着任
医師紹介

令和
8年度





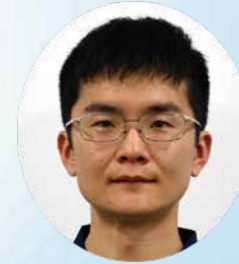
やまぐち としひろ
山口 俊大 リウマチ膠原病内科医師

1年間依田窪病院で勤務し、今年度より再度当院で勤務させていただきます。医療資源の乏しい上小地域で勤務し、当たり前の医療を地域として提供する大変さを痛感しました。いち茅野市民としても当院の存在は暮らしの安心を与えてくれます。一員としてまた頑張ります。



まつやま けい
松山 圭 東洋医学科医師(フェロー)

東洋医学科で診療を行う松山圭です。気・血・水といった体のバランスや体質を大切にする漢方医学を用い、慢性的な不調や原因がはっきりしない症状にも丁寧に向き合います。必要に応じて西洋医学の検査や治療も取り入れながら、一人ひとりの体に合わせた医療を心がけています。「どこに相談したらよいかわからない不調」も、どうぞ安心してご相談ください。



いけだ ひろたけ
池田 大岳 総合診療科医師

この3年間地域医療に従事していました。この度縁があり、諏訪中央病院に勤務させていただくことになりました。自然豊かな諏訪地域で地域の皆様のお役に立てるように頑張ってお仕事していきますのでよろしくお願いいたします。



げんま たかし
弦間 崇 整形外科医師

山梨大学病院整形外科医局所属の弦間崇と申します。専攻医4年目です。地域医療に貢献出来るように尽力して参ります。よろしくお願いいたします。



なかの ゆうき
中野 雄貴 整形外科医師

今年度から茅野にて働かせていただきます。患者様に寄り添う医療を心がけます。よろしくお願いいたします。



なかむら れん
中村 錬 整形外科医師

4月より整形外科に赴任しました、埼玉県出身の中村錬です。自然豊かな信州での診療を心より楽しみにしております。これまで大学病院などで骨や関節の専門的な治療に携わって参りました。皆様が住み慣れたこの街で、いつまでも元気に歩き、いきいきと生活できるよう、痛みや怪我の悩みに親身に寄り添った診療を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。



はじめましての メッセージ

Messages from Newmember

令和8年度
着任医師紹介



やぎ たかし
八木 貴 脳神経外科部長

八木貴と申します。これまで脳卒中や頭痛・めまいなどの神経の病気、首や腰の痛み、手足のしびれといった脊髄・脊髄の病気を中心に診療してきました。専門的な内容も分かりやすく説明し、地域の皆さまが安心して相談できる医療を心がけてまいります。どうぞお気軽にご相談ください。



まき なりとし
榎 誠俊 麻酔科部長

今年度より麻酔科に着任いたしました榎誠俊と申します。諏訪中央病院にご縁があり大阪からやってまいりました。医師になって四半世紀以上が経ちました。よもやよもや体力的にはピークは越えたのかもしれませんが。しかしこれまで培ってきたワザと経験でまだまだ地域の皆様に貢献できると確信しております。何卒よろしくお願いいたします。



よしひ びさみち
吉井 久倫 外科医長

患者さんの人生観や背景などで様々な治療の選択肢があると思っています。一緒に相談しながら治療方針を立てていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



たかのす ともたか
鷹栖 相崇 救急・集中治療科医長 兼 総合診療科医師

はじめまして。4月より諏訪中央病院で診療に携わることになりました鷹栖です。これまで救急や集中治療、内科などを中心に、重症の患者さんの診療を行ってきました。地域での医療と子育てを大切にしたいと考え、茅野に移り住みました。体調の急な変化やご不安なことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



たかはし みき
高橋 美紀 循環器内科医長

伊那市出身の高橋美紀と申します。昨年度は大阪にて心エコー検査を中心に研修を行ってまいりました。この度、諏訪中央病院循環器内科に帰ってまいりました。これまでの経験を活かして心臓の病気について丁寧にわかりやすい説明を大切にしながら診療にあたってまいります。地域の皆さまに寄り添う医療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



かど ゆきひろ
角 勇貴大 専攻医

初めまして、千葉から参りました角と申します。お一人お一人に対して健康の一助となれるよう全力で頑張ってお参ります。また、この地域のことを知らない部分も多いので、皆さんと関わる中で少しずつ知っていければと思います。1年と短い期間ですが、よろしくお願いいたします。



おおしま いっせい
大島 壱生 初期研修医

自然豊かで、心温かい地域の皆さまに囲まれた環境で働くことができることを大変嬉しく思っております。「やさしく あたたかい たしかな医療」を目指して、日々努力し、地域の皆さまの生活を支えられる医師になれるよう研鑽を積んでまいります。まだまだ未熟ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。



おおふじ ののか
大藤 野々花 初期研修医

福岡県出身ですが、学生時代に訪れた蓼科の美しさに一目惚れし、一員になれたことがとても嬉しいです。研修医として、地域の皆様から学ばせていただくことも多く、至らぬ点もあるかと思っております。一日も早く皆様の力になれるよう今の自分にできることを精一杯、誠実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



かわばた みゆき
川端 みゆき 初期研修医

はじめまして。4月より諏訪中央病院で初期研修医として働くことになりました川端みゆきと申します。皆さまに安心してお話しいただけるよう、丁寧な診療を心がけていきたいと考えております。また、自然豊かな茅野市について少しずつ教えていただけると大変嬉しいです。地域の皆さまの健康を支える一員となれるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



なかむら ゆう
中村 友 初期研修医

初期研修医として入職いたしました。東京出身で、山梨大学で医学を学びました。諏訪の皆さんの温かな雰囲気を感じ、この病院で研修することを決めました。まだまだ未熟者ですが、皆さんに安心して相談していただける医師になれるよう日々精進していきます。医師としても人としても成長しながら、地域の暮らしにも馴染んでいければと思っています。



まつなが いよ
松永 伊代 初期研修医

大学で長野県に来て人の温かさに惹かれ卒業後も県内に残ることにしました。当院に実習に来た際、患者さんにいただいたセロリは、みずみずしく臭みがなく、私のセロリ概念を覆しました。茅野に元気な方が多い秘訣かもしれません。研修では患者さんから沢山のことを学ばせていただきたいと思っています。未熟者ですが成長を温かく見守っていただければ幸いです。



みやうち しゅん
宮内 駿 初期研修医

初期研修医として診療に携わせていただきます。故郷は四国愛媛県ですが、諏訪地域はこれまで何度も訪れたことがあり、雄大な自然や歴史、あたたかく爽やかな雰囲気が大好きです。地域の皆様が健康で幸せに生活できる一助となれるよう、丁寧に一生懸命努めてまいります。地域のことや暮らしのことなど、色々教えていただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。



みやわき ひろき
宮脇 大輝 内科専攻医

諏訪中央病院内科専攻医として、働かせていただきます。少しでも地域の方々のお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



たけうち ゆうま
竹内 悠真 内科専攻医

静岡県東部出身で海、山、田んぼに囲まれて育ってきました。長野の地は初めてで不慣れなことも多いので、色々教えていただけると大変助かります。地域の皆様に安心して診療を受けていただける医師を目指し、少しでも地域の方に還元できるよう努めていきます。



こまつ りんたろう
小松 麟太郎 総合診療専攻医

初めまして。小松麟太郎と申します。地域の皆様が毎日笑顔で安心して暮らせるよう、患者様の声にしっかりと耳を傾け、心に寄り添う診療を心がけてまいります。「こんなこと相談してもいいのかな」と迷うようなことでも、どうぞお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



しょうじ はるか
庄司 悠 専攻医

2026年度より入職しました。半年間と短い間ですが、地域に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



かめい よしゆき
亀井 義之 専攻医

東京の聖路加国際病院から参りました。茅野市をはじめとした地域の皆様の健康で安心した暮らしを実現するお役に立てるよう精一杯努めて参ります。長野県での生活は人生で初めてなので、色々なお話を伺えると大変嬉しく存じます。半年間という短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



こんどう ひろひと
近藤 寛仁 専攻医

愛知県の藤田医科大学病院より参りました近藤寛仁と申します。循環器内科をはじめ内科全般を専攻しております。地域の皆様の力になれるよう精一杯尽力してまいります。よろしくお願いいたします。



にった まさと
新田 雅斗 専攻医

2026年度、諏訪中央病院で1年間研修させていただきます。地域の皆さまが安心して相談できる身近な医師を目指し、丁寧な診療とわかりやすい説明を心がけてまいります。また困ったときに気軽に頼っていただける存在になれるよう努力いたします。よろしくお願いいたします。

気がつけば「家庭医」として

北山診療所 所長 安藤 親男



私は体調不良などもあり、この4月一杯をもって現役を退くことを決意しました。

昭和63年諏訪中央病院に入職しましたが、平成5年に旧ヨコイ病院が諏訪中央病院分院のリバーサイドホスピタルとなり、平成6年に分院に異動になりました。リバーサイドホスピタルは比較的軽症の入院患者さんを受け入れる一般病棟に加えて、本院で入院が長引きなかなか家に帰れない患者さんを受け入れ、リハビリやケアを中心に行う病棟がありました。

か症状を和らげる方法はないかと常に考えるようになりました。

リバーサイドホスピタルは平成10年に病床を本院に移動し、新たにリバーサイドクリニックという診療所として再出発しました。不思議なことに診療所になってから、患者さんとの会話で自然と方言を使うようになったのを覚えています。私は元々伊那の出身なので、高校までは普通の方言を使っていたと思います。が、長野県を出てからあまり使わなくなっていました。診療所の医師になって患者さんとの距離感が近くなったように感じ、患者さんをより身近な存在として意識するようになり、患者さんの普段の生活、仕事や家事の様子、家どんな風に過ごしているかが気になるようになりました。またクリニックになって今まで以上に在宅医療に力を入れるようになりました。在宅医療では福祉サービスが

必要な方が多いのですが、平成12年に始まった茅野市の「地域福祉計画」(通称ビーンズプラン)により、クリニックに「西部保健福祉サービスセンター」が併設され、福祉との連携がよりスムーズになりました。

患者さんの生活背景を考慮しながら、風邪などの日常病から高血圧・糖尿病などの生活習慣病を治療したり、介護や福祉の職種の方と連携を行うような医師を最近では家庭医と言いますが、諏訪中央病院には家庭医療学を学ぶ若い医師も増えており、私も彼らの勉強会に参加させてもらい、家庭医の必要性を自覚しました。特に高齢で複数の病気を抱えておられる方は、勿論それぞれの病気の専門の医師との関わりが必要な場合もありますが、全体をまとめて診てくれるような医師の存在も重要です。皆さんにも何でも相談できる身近なかかりつけ医(家庭



医)を持っていただくことは是非お勧めします。

私はそうなるうと思ってやってきた訳ではなく、たまに診療所の医者となり、気がつけば「家庭医」もどき：(？)になっていた感じですが、今振り返ってみてもやはりいいのある仕事だったと思っています。残念ながら家庭医としての道を究めるには至りませんが、たが、家庭医療を担っていただける若い医師達が私の後に続いてくれることに期待しています。

「DX」

薬の受け取りがスムーズにできる「電子処方せん」始まっています

当院では、昨年の12月に電子処方せんを導入し、医療DXの一環として推進しています。

「電子化により、紙の処方せんを薬局に持って行く必要がなくなるというのは理解できるけれど、それって便利なの?」

ネットク!のご利用に向け、みなさんとメリットや手順、しくみを確認。電子処方せんのギモンにお応えします。



- メリット 1 お薬情報を正確かつ安全に管理**
「電子処方せん管理サービス」に登録された情報を共有することで、薬の重複を防いだり飲み合わせに問題がないかチェックしたりできます。旅行や転居、また災害の際など、別の病院や薬局でも、お薬情報が効率よく引き継がれて安心です。
- メリット 2 訪問診療患者さんの負担を軽減**
病院に紙の処方せんを取りに来る手間が省けます。さらに配送サービスやオンライン服薬指導と組み合わせれば、自宅にいながらお薬を受け取ることも可能となります。
- メリット 3 紛失リスクなし**
見当たらない、破れてしまった! など紙ならではのトラブルやストレスを回避できます。

「電子処方せん」利用の手順

- ① 受付**
「マイナンバーカード(マイナ保険証)」で受付します。
※マイナ保険証の登録がまだの方でも電子処方せんの利用は可能です。
- ② 診察室**
医師に電子処方せん希望と伝え、診察終了時に「処方内容(控え)」を受け取ります。
- ③ 薬局**
「電子処方せん対応」マークがある薬局で、マイナンバーカードと「処方内容(控え)」を提示し、お薬を受け取ります。

※マイナンバーカードがない場合は「処方内容(控え)」に記載された「引き換え番号」をお伝えいただけます。

疑問 解決 Q&A

◎ FAXはしなくてOK?
お薬の情報が自動で薬局に送られるわけではないので、待ち時間なく薬を受け取りたい場合は「処方内容(控え)」のFAXをお勧めします。

◎ アプリなどで事前に処方せんの写真を送っていた方は、同じように控えを撮影し送ってください。

◎ 控えをなくしたら再発行?
マイナ保険証をご利用の方は、マイナ保険証の提示により薬が受け取れますので、再発行は不要です。マイナ保険証を利用していない方は、引き換え番号が必要ですので、番号がわからない場合は、病院にご相談ください。

鍼灸師 伊藤 美咲
いとう みさき



新年度を迎えて早1か月。そして、もうすぐ梅雨がやってまいります。みなさまいかがお過ごしでしょうか？
5月は、環境の変化などによるストレスや疲れが出やすく、さらにゴールデンウィークの生活リズムの変化で五月病を招きやすくなり、何となくやる気が出ない、身体がだるい・重いと感じる方が多くなります。また6月になり梅雨に入ると、湿気の影響で身体がさらに重く感じたり、不調が出やすくなります。

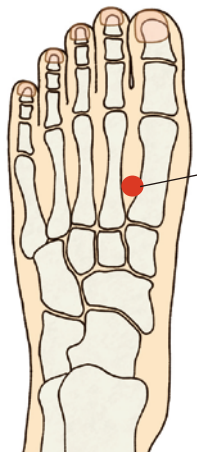
東洋医学では「気」の巡りが悪くな

るところといった症状が出やすく、自律神経にも影響すると考えられています。春や夏は身体を動かすのに適した季節でもあるので、無理のない範囲で運動をしたり、ぐいーっとストレッチをしてみるのもよいでしょう。
そして、今回はそんなだるさやストレス軽減に使えるツボをご紹介します。このツボを押して痛みがあるときは、気の巡りが悪くなっているサインでもあります。
ぜひ日ごろのセルフケアやセルフチェックに取り入れてみてくださいませ。

イライラやのぼせ、不眠にも効果的！

ツボ:太衝(たいしょう)

場所:足の甲。親指と人差し指の骨が交わる手前のくぼみ



太衝
たいしょう

痛気持ちいいくらいの強さで押す
もしくは
温かさを感じるまでせんねん灸をのせる

6月1日より

外来の受付方法が変わります

予約あり
での来院



「マイナ保険証」

お持ちでない方

お持ちの方

再来受付機で受付

総合受付窓口で

資格確認証を
ご提示ください

1

画面に
タッチ



マイナ受付専用となります

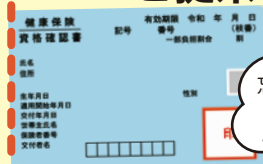
2



マイナンバーカード
を入れて本人確認
(顔認証 or 暗証番号)

スマホ
マイナ保険証
はこちら

マイナカード
はココへ



忘れずに
ご持参
ください

予約なし
での来院

3

同意の確認

4

受付完了

5

再来受付機下部より
受付票を受け取る

総合受付窓口での受付が必要です。
マイナ保険証または資格確認証を
ご提示ください。